



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.09.14 No.00718

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 09.14】
決議 23-34
川上会員

次回のプログラム

【通常例会 09.21】
クラブ協議会④
坂寄恵 AG

9月の主な行事：新世代のための月間

第 717 回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
ロータリーソング：奉仕の理想
ゲ ス ト：なし
ビ ジ タ ー：なし

会長報告：長友芳郎



■日本においてサービスという言葉が最初に使ったのは、日本自動車会社の社長石沢愛三である。大正末期に米国を視察した際、米国の自動車販売に「サービス・ス

テーション」が大きな成果を上げていることを知り日本でもサービス・ステーションを広めようとする。帰国後、取引先関係各社にはがきを出す。文面は「今般、当社は完全なるサービス・ステーションに依り顧客本位の御便宜を計ることに相成り候」。これに対し、「サービス・ステーションという便利なものが到着した由、至急届けてもらいたい」との回答が多数返ってくる。これに困った石沢はサービス・ステーションの和訳を試みるが、辞書には、サービスとは奉仕的なものとの記述のみであり、外国人に訊いても要領を得なかつたので、使うのをやめたという。（出典：ウィキペディア）今にしてみれば笑い話ですが、シェルドンによってロータリー持ち込まれた「サービス」という言葉が、シェルドンの意図する意味で理解されているのだろうか？

1904年に発行されたシェルドンスクールの販売学教材「シェルドン・コース」を読んでみると Service 意味は多様であり、一言で定義するのが難しいと言っている。Service は買い手に満足を与え、信頼を生み、継続的な取引につながりビジネスの成功へと導くものとしている。販売額における Service を定義

すれば、質、量、管理状態の三つだと言っている。このどれもが不完全であると顧客は満足しないのであり Service が提供されたとは言えないのである。

この質、量、管理状態に対して売り手は最大限の努力を行えば行うほどビジネスは増えてより多くの利益が得られると言うのである。利益についても金銭的利益は人間の尊厳を保つのに必要であり幸福に導く物としている。シェルドンスクールで教える事柄は実践哲学であると言っている。この本の中からは社会に役に立つことを強調したり、自己犠牲を意味するといった事は感じられない。自然の法則に従う方法によって全てのバランスがとれ、それが結果として社会に役立つ結果と成っているのではないだろうか。職業を通して世に奉仕するなどと恥ずかしくて言えない自分にはシェルドンの考えはクールで受け入れやすいのである。



幹事報告

■「この指とまれ」プロジェクト参加募集のお知らせ及び賛助アンケートが来ています。

■青少年交換 短期親善訪問団 派遣者募集のご案内中です。

委員会報告

■第 33 回ライラセミナー

10月6日[土曜日] 9:30 開校式
会 場 五浦観光ホテル 大観荘
茨城県北茨城市大津町 722

参加者 流通経済大学 光野 聡司 (4年生)
流通経済大学 平沼 智子 (3年生)

以上の内容で御報告いたします。

■社会奉仕研究会 出席報告

2012年8月5日 会場 ホテル グランド東雲

10:00 点鐘 野堀 喜作ガバナー
講演 演題 (放射能汚染について) 講師 緒方 剛
講演 演題 (茨城県産海産物の取り組み方)
講師 鈴木 和栄

社会奉仕について ディスカッション

■高校生ボランティアスクール

7月21日 開校式 城出会員、海老原会員参加
8月4-5日 ふれ愛キャンプ 森林公園 参加者
横山、山口、城出、椎塚、川北、海老原各会員
8月11日 子供との交流 中央図書館
8月19日 スポーツゴミ広い 山口、海老原会員
8月21日 子供との交流 山口会員
8月28日 介護体験 竜成園 山口会員
8月29日 閉校式 地域福祉会館 山口、城出会員
総参加人数 53名

本日のプログラム

新世代奉仕月間



社会奉仕委員会: 海老原賢
■私に与えられたテーマは、特別月間として「新世代奉仕を学ぶ」でした。学習の内容を述べさせていただきます。

「新世代」とは、ロータリー家族の最も若い世代の人々を指し、その多くは、青少年や若者を対象としたロータリーのプログラム (インターアクト、ローターアクト、青少年指導者養成プログラム「RYLA」、青少年交換) の参加者たちです。さらに、ロータリークラブや地区の活動に参加している奉仕志向の若者たちも含まれます。

「新世代」という言葉は、ルイス・ピセンテ・ジアイ元会長が、初めて使いました。

■新世代と奉仕部門 長い歴史の中でロータリアンはそれぞれの地域で青少年の支援に力を注ぎました。RI長期計画は、5つの全奉仕部門でバランスの取れた活動を行うことを目指しており、活動によっては複数の部門に当てはまるものもあります。新世代奉仕は、青少年や若者のためのロータリアンによる活動価値を認め、そうした活動をさらに広げようクラブに奨励するものです。その土台には、[すべてのロータリアンには、若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼らの人間的・職業的成長を支援する責務がある]という考え方があります。

■新世代と会員増強 活動の範囲を新世代へと広げることは、ロータリークラブの未来への投資です。地元の青少年や若者とのつながりを築けば、将来の会員候補者の育成につながるだけでなく、若いパワーや新鮮な考え方を取り入れることによってクラブが若返ります。就職支援デーや個人指導プログラム

など、若者を対象とした職業奉仕や社会奉仕の活動を通じて、ロータリーの奉仕の理想を彼らと分かち合うことができます。「インターアクト」は、12歳から18歳の青少年による奉仕クラブです。地域社会または学校を基盤として結成されます。ロータリークラブがインターアクトクラブの設立を支援し、指導やサポートをしますが、インターアクトクラブは、自助自立して運営されます。

インターアクトクラブの目標は、指導力や高潔な心を身につけ、他者への思いやりと尊重の念を育み、個人としての責任や一生懸命仕事をするものの価値を理解し、国際理解と親善を推進することです。インターアクトは、対象とする年齢が広いため同じ地域に年齢層ごとに複数のクラブを設立することが可能です。米国テキサス州のロータリークラブは3つのインターアクトクラブを設立しました。高校生のクラブと中学生のクラブ2つです。「ローターアクト」は、18歳から30歳までの青年による奉仕クラブです。大学を基盤としたクラブは、学部生と大学院生から成り、キャンパス内で例会が開催されます。地域社会を基盤としたクラブは、社会人や学生などさまざまな職業の青年によって構成されます。ローターアクトクラブは、地元ロータリークラブの支援の下で設立され、ローターアクトクラブは、指導力要請や職業開発の活動にも焦点を当てています。

「RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)」は、14歳から30歳と広いため、ほとんどのクラブや地区では、特定の年齢層を対象を絞って実施しています。以上、「新世代奉仕」をテーマに卓話をさせていただきました。私にとっての卓話はロータリーのテーマを再度学習する機会です。そこは違うよ、というお叱りもあるでしょうがここで示させていただきます。有り難うございました。

出席状況

会 員	16名	出席率	68.75%
出 席 者	8名		
出席免除者	2名	Make-up	3名
(定款第9条3節a)	1名	荒木・椎塚・米島会員	

ニコニコボックス (目標額 600,000 円)

本日 3件 6,000円 (本年度累計 95,000円)

海老原会員：水不足が気になります。
川上会員：RB会龍ヶ崎中央三連覇しました。
横山会員：川上幹事。中央のRB会三連覇おめでとうございます。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに城出 SAA
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。